



若竹だより



【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

寒さにもコロナにも負けず

園長 宮竹 恒

子どもたちは、年末年始に様々な行事・活動を行い、気持ちも新たに元気に新学期を迎えることが出来ました。

オミクロン株が猛威を振るう中、心身共に子どもたちが元気に過ごしていることの有難さを日々感じているところです。

寒さが厳しい日もありますが、天気の良い日は、外でしっかり体を動かす子どもも多く、自然に鍛えられているように思います。

職員も一緒にサッカーや、野球をしています。最近では、園庭に土俵を描き相撲をする男子の姿も見られます。

1月21日よりまん延防止等重点措置が適用され、外出することが難しくなり、活動にも工夫が必要になりました。

雨天時に行っていた、カラオケや卓球などの活動を週末に取り入れ、子どもたちが出来る選択肢を増やしています。

昨年より取り組み始めたフロアごとのおやつ作りは人気があり、協力して楽しく参加することが出来ています。

子どもたちから「新しいイベントを考えて欲しい」という声があがっており、職員はアイデアを練っています。次号以降で新しい取り組みをお伝えしたいと思います。

冬の寒さとコロナ禍を、子どもたち・職員と一緒に乗り越え、春を迎える準備をしています。

—了—



3階フロアの男の子たちがフレンチトーストを作りました。自分たちで考え、盛付もしました。

作りたてを食べることが出来て、「おいしかった！」と好評でした。



～み光り地蔵尊～

子どもたちを毎日、見守ってくださっているみ光り地蔵様にお花をお供えし、日頃の感謝を伝えました。子どもたちの幸福と健康をお祈りしました。





青峰・若竹学級だより



始業式

1月の始業式が行われました。高町校長先生からシベリア抑留から帰ってきた方の話がありました。「思い」によって人は変われるので、目標を持ち成長を思い描くようにと語られました。園長先生からは「喜んで与える人間となろう」ということについて話があり、初心の大切さや元気であることのありがたさを語られました。

書き初め

3学期始めの行事として、小・中学生全員で書き初めを行いました。いくつかの手本の中から自分が書きたい字を選びました。「羊」など1文字のものを選んだ子もいれば、「花鳥風月」といった難しい字を選んだ子もいました。筆の扱いに苦労しつつも真剣に取り組み、5枚の中から最高の1枚を選びました。



餅焼き

小学生は七輪で餅を焼きました。フライパンやレンジなどと違い火力の調整や焼き時間の調整が難しく、初めは焦げたり、中まで焼けなかったりしましたが、少しずつ焼くのが上手になりました。

焼けた餅はしょう油や砂糖、のりなどで味付けをして、おいしそうに食べていました。

診断テスト（中3総合1回、中1・2 過去問）

中学生は1月19日に診断テスト総合1回および過去問を行いました。3年生は私立高校の入試は終わりましたが、公立高校の入試を見据えて真剣に取り組んでいました。1・2年生は今までと違い難易度の高い問題に苦戦しつつも、最後まで頑張って挑戦していました。



新年早々、天気にも恵まれて気持ち良く元気な足取りで、子どもたちと一緒に白峰寺まで初詣に行きました。

昨年もコロナ禍の影響で大変な年でしたが、良い1年になるように思いを託して子どもたちと一緒に初詣をしました。子どもたちは、おみくじを引いて、その結果で一喜一憂したり、屋台に行ったり、お餅やフライドポテトなどを美味しく食べていました。



初詣を終えてからお宝市番館に行き、学園からのお年玉で子どもたちは、ゲームや漫画など欲しいものを買っていました。コロナの感染者数が減少し、お店の雰囲気にも活気が



戻ってきたように感じました。今年は、子どもたちと外出が多くできるような年になるこ

とを願っています。

今年は初詣だけでなく、お正月の風物詩である凧あげもしました。

当日は風があまり無く、上手く揚がるか心配でしたが、子どもたちと一緒にどうしたら上手く揚げられるか考えてみました。



子どもたちと何度も試行錯誤し、徐々に高く上がるようになっていき、達成感や喜びを分かち合う事が出来ました。また、最初は乗り気ではない子もやりだすと笑顔が見えるようになってきました。凧あげでは恒例の木に引っかかるトラブルもありました。職員がコツを教えると飲み込みが早く、上手い子だと4m程揚げられていました。



凧揚げ後は、リフレッシュも兼ねてお店で飲み物やお菓子等を買って、美味しくいただきました。

コロナがまだまだ懸念されますが、今年も工夫しながら、昨年以上に盛り上げられる様にしていきたいです。

おもちつき

12月27日に餅つきをしました。4回に分けて、子どもと一緒に餅をつきました。

準備では、中学3年生の男の子たちに協力をしてもらい、20kg以上もある石の臼を転がしながら玄関前まで用意をすることができました。

子どもと一緒に、蒸したての餅をこねて、杵について丸めての工程を行いました。最初は戸惑ってる子もいましたが、回数を重ねるごとに、つき方がどんどん上手くなっていきました。



例年、餅をつくと言えば男の子が積極的でしたが、今年は女の子も積極的に参加してくれました。1人10回程度で交代しながら、粒も残らずきれいな餅をつくことができました。

職員に教えて貰いながら、綺麗に餅を丸め



る事が出来ました。

自分たちのついたお餅を、みそや砂糖醤油等で味付けをして、美味しそうにほおばっていました。一人で最高8個も食べた子どもは「1年分のお餅をここで食べた。」と満足したように話してくれました。

1月行事

1日	初詣
30日	誕生日ケーキ作り
11日、12日 13日、17日	買物外出

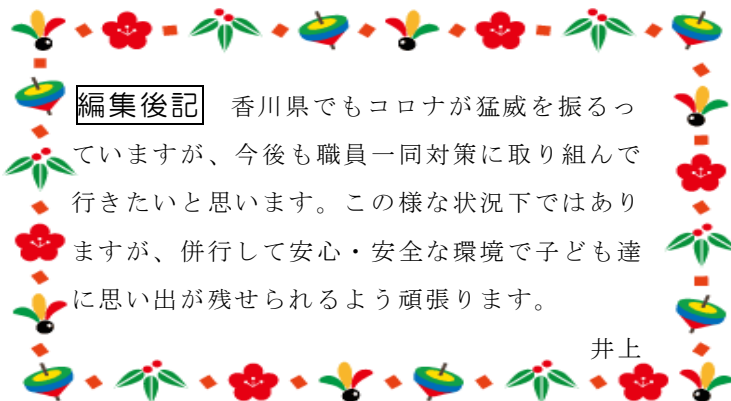
在籍人数

令和4年2月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	5	2	7
中学生	13	1	14
合計	18	3	21

ご寄付ありがとうございます。

延命寺 様 もみじまんじゅう沢山
青木 民雄 様 みかん沢山



編集後記

香川県でもコロナが猛威を振るっていますが、今後も職員一同対策に取り組んで行きたいと思えます。この様な状況下ではありますが、併行して安心・安全な環境で子ども達に思い出が残せられるよう頑張ります。

井上

第334発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

